



木下良三氏

令和7年春の褒章で、元岸和田市農業委員会会長で、大阪府経営者会議相談役の木下良三氏(83)が黄綬褒章を受章した。長年農業の業務に精励し、他の模範となるような技術や実績を有し、大阪農業の振興に寄与した功績によるもの。

春の褒章
木下良三氏が受章

通常総会提出
議案などを審議
第58回理事会

農業会議は5月21日、大阪市内・JAバンク大阪信連事務センターで第58回理事会を開いた。第1号議案では、6月開催の第161回通常総会の付議事項を決定。令和6年度事業報告及び収支決算承認の件、市長会の

改選に伴う理事補充選任の件を議案として上程することとした。また、第2号議案では、大阪府の職員の旅費に関する条例の改正に伴う一般社団法人大阪府農業会議理事、監事等及び職員

第110回常設審議委員会

農業会議は5月21日、第110回常設審議委員会を大阪市内・JAバンク大阪信連事務センターで開いた。第1号議案の農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取に回答する件(高槻市、箕面市、貝塚市、太子町、富田林市、大阪狭山市、八尾市、枚方市、

憲法施行記念式
大阪府知事表彰

大阪府は5月7日、大阪市内の大阪国際会議場で憲法施行記念式を開き、産業、自治、教育、文化などの各分野で功績のあった方の表彰を行った。今回表彰されたのは、7団体、361人。農業功労者(農林水産関係)として、農業会議副会長で岸和田市農委会長を務める谷口敏信氏(いずみの農業協同組合代表理事組合長)をはじめ、森川雅恵氏(八尾市農業委員)などが受賞。また、市町村関係

府の職員の旅費に関する条例の改正に伴う一般社団法人大阪府農業会議理事、監事等及び職員

寝屋川市、大東市農業委員会会長)13件(1万3484平方メートル)を許可やむを得ないと認め、回答することを議決した。委員からは大手建設会社の一

時転用(仮設工事事務所)の期間継続の再申請を、失念し提出が遅れたことについて、会社の法令遵守が問われるので、市農業委員会として、今後この様な事が無いよう厳しい対応をしてもらいたいとの意見があり、市

で西口誠一氏(守口市農業委員会会長)、地縁団体関係として石崎勇氏(大阪府農業共済組合

地区連総会、各地で開催

4月から5月にかけて、府内で農業委員会連合会の総会が開催された。概要は次のとおり(①開催日、②開催場所、③農業会議出席者)。
○南河内地区農委連合会(会長・藤井勝美 藤井寺市農委会長)
①4月24日、②藤井寺市役所、
③北川専務理事兼事務局長

の旅費支給規程の改正について承認した。(中島)

担当者からは、対応する旨の回答があった。

【第1号議案】

件数	面積(平方メートル)
第4条 2	2523
第5条 11	1万 961
合計 13	1万3484

(農地区分別件数は、3種農地10件、2種農地3件)

組合長理事)が受賞した。

○三島地区農委連合会(会長・森本茂高槻市農委会長)
①4月28日、②高槻市内・クロスバル高槻、③北川専務理事兼事務局長

○泉北地区農委連合会(会長・北島政夫 泉大津市農委会長)
①5月13日、②泉大津市役所、
③北川専務理事兼事務局長
○北河内地区農委連合会(会長・友田正直 交野市農委会長)
①5月22日、②枚方市役所、③北川専務理事兼事務局長

新たに132件を認定
府農業経営計画認定審査会

大阪府農業経営計画認定審査会(会長・坂本義信 大阪府みどり公社調査役)は3月24日、JAバンク大阪信連事務センターで令和6年度大阪府農業経営計画認定審査会(第2回)を開き、知事から諮問のあった132件の大阪版認定農業者の農業経営計画を適当であると認め、同日付で答申した。

33市町村から申請のあった132件のうち、年間販売額50万円以上をめざす「地域貢献型農業者」は114件、「エコ認証」が16件、「地域営農組織」が2件となった。

法人・組織を除く130件の内訳を年代別にみると、「70歳」が57件と最も多く、次いで「60～69歳」(32件)、「50～59歳」(14件)の順となった。地区別では北部37件、中部49件、南河内24件、泉州22件。

大阪版認定農業者制度は、平成20年施行の「大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例」に基づき、地産地消等に取り組み小規模な農業者等の経営計画を認定するもの。(北川)